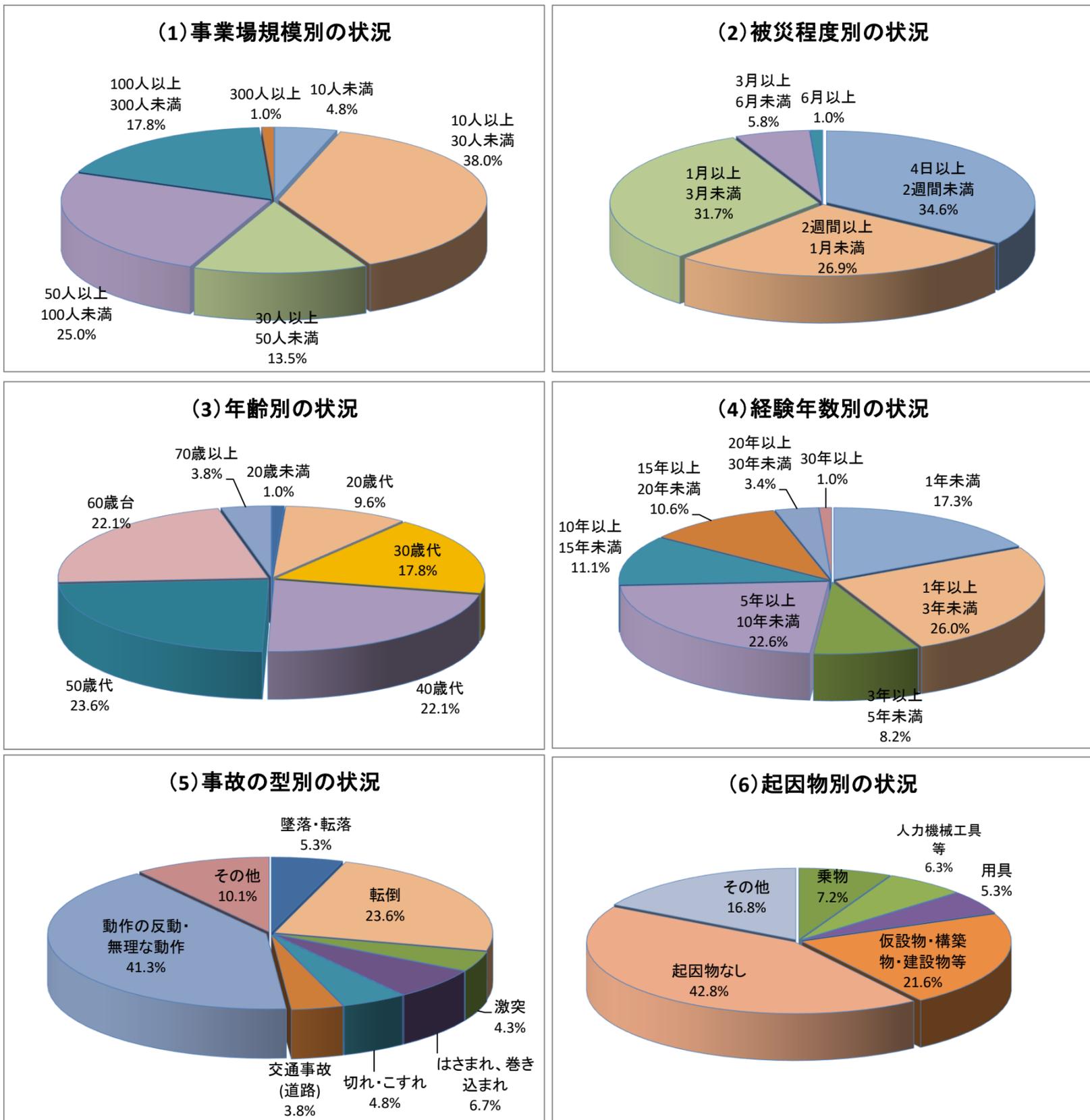


17-3.社会福祉施設における労働災害発生状況(令和元年)

(社会福祉施設：208人)



1. 事業場規模別では、「10人以上30人未満」の事業場が38.0%と最も多く、次いで「50人以上100人未満」が25.0%、「100人以上300人未満」17.8%の順となっている。50人未満の事業場が56.3%を占めている。
2. 被災程度別では、「4日以上2週間未満」が34.6%と最も多く、次いで「休業1月以上3月未満」が31.7%、「2週間以上1月未満」26.9%の順となっている。
3. 年齢別では、50歳代が23.6%と最も多く、次いで、60歳代、40歳代がそれぞれ22.1%となっている。
4. 経験年数別では、「1年以上3年未満」が26.0%と最も多く、次いで「5年以上10年未満」が22.6%、「1年未満」が17.3%の順となっている。
5. 事故の型別では、「動作の反動、無理な動作」が41.3%（このうち43.0%が腰痛を発症している。）と最も多く、次いで「転倒」が23.6%となっている。
6. 起因物別では、「起因物なし(人など)」が42.8%（このうち事故の型が「動作の反動・無理な動作」は87.6%）と最も多く、次いで「建設物・構築物・仮設物」が21.6%の順となっている。